

児童が運動の楽しさやできた喜びを味わうことができる体育授業の構築

大分県津久見市立津久見小学校

全校児童数	258名(男子123名 女子135名)		
全クラス数	11	教職員数	25名
体育専科教員訪問学校数			3校
訪問校	堅徳小・青江小・千怒小		
体育専科教員名			川野 祐二

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆体力運動能力調査結果から

- ・「握力」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」に課題がある。
- ・ゲーム機器等の使用時間が長く、睡眠時間の確保など、規則正しい生活習慣の確立を要する。

◆体育指導の工夫改善

- ・毎時間、本時のめあては示されているが、「わかったこと」「できたこと」の視点でのふり返り活動が十分でないことがある。

2 取組の計画

- ①一校一実践「5分間タイム」の年間計画に沿った実践
 - ②多様な運動経験の場の取り入れと運動量の確保
 - ③「めあて」の提示と、「わかったこと」「できるようになったこと」を確認・交流する「ふり返り」の場の位置づけ
 - ④単元目標ならびに指導の流れの共有
 - ⑤児童の動きを高める指導上の重要なポイントを押さえた指導方法の共有による工夫改善の推進
 - ⑥動きを見合ったり、教え合ったりする場の設定による自ら考え工夫する体育学習の推進
- *各学期末に児童による授業評価アンケートを4校で実施

Do：実践内容

1. 一校一実践「5分間タイム」

- (1)「5分間タイム」で取り組む低・中・高学年の月ごとの内容を職員室体育掲示板に明示し、年間計画に沿った実践の継続で体力向上を図る。

2. 運動量の確保

- (1)授業開始のあいさつ、「5分間タイム」、本時の「めあて」の提示の流れをスムーズに行う。
- (2)活動の指示や動きのポイントの確認など、集合・話し合いの時間はできる限り短くする。
- (3)ゲームではルールを工夫し、だれもが同じように運動量を確保できるようにする。

3. ふり返りの場の位置づけ

- (1)各自に「めあて」の達成度をあきらかにさせる「ふり返り」の言葉かけを行う。
- (2)「わかったこと」「できるようになったこと」の視点でふり返らせ、児童相互で確認や交流を図る。

4. 単元目標ならびに指導の流れの共有

- (1)各学年の各単元計画の略案を示し、担任の先生と単元目標ならびに指導の流れの共有を図る。

5. 指導方法の工夫改善の推進

- (1)児童の動きを高める指導上の重要なポイントとなる点や言葉かけを押さえながら、担任の先生方の指導方法の工夫改善の推進を図る。

6. 自ら考え工夫する体育学習の推進

- (1)友だちと動きを見合ったり、教え合ったり、相互に称え合ったりする場を積極的に設定し、自ら考え工夫する体育学習を推進する。

●工夫したこと（&苦労した点）

- ①一校一実践「5分間タイム」では、鬼遊びを中心にした運動を取り入れ、運動に向かう意欲を高めるとともに、心肺機能の向上を図った。
- ②毎時間、「めあて」「ふり返り」の提示は、A3用紙に両面印刷したものをカードケースにはさんで提示し、全員で声をそろえて読ませ確認した。
- ③各校で備品(例えば跳び箱、マットなど)の保有数が違い、限られた数量で十分な活動を行えるような場の設定に苦労した。

Check：取組の成果

- ①運動の楽しさやできた喜びを味わうことができる体育学習を目指し、児童へのアンケートでは「体育の授業が楽しい」と肯定的回答の割合が1学期末は95.5%、2学期末は97.5%であった。
- ②同じく、「体力が向上してきた」と肯定的回答の割合が1学期末は90.8%、2学期末は91.3%であった。
- ③ゲーム(例えばプレルボール、キックベースボールなど)では、だれもが同じように運動量を確保できるようにルールを工夫することで、楽しく協力しながら運動に取り組むことができた。
- ④本務校および訪問校の先生方へ「有用な学習活動があったか」をお尋ねしたところ、各先生方から「参考になる学習活動や指導方法があった」と回答いただけた。

Action：今後の課題

- ①仲間づくりを意図した運動を積極的に授業に取り入れ、日常生活での運動習慣の確立を図ると同時に、全力を出し切ること、思いやりの心で協力することの大切さを実感させながら、「心育」「仲間づくり」の体育学習を推進する。
- ②各校の一校一実践が、日々の授業の中に位置づいている学校、そうでない学校があり、その修正・改善には至れていない。体育専科教員として、各校の実践の成果や課題の検証を促し、次年度の取り組みの改善をはたらきかける。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

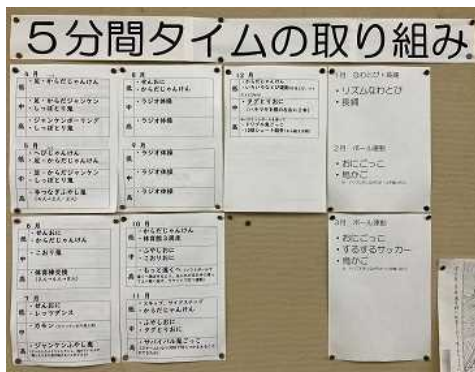
【児童】

- ・外遊びを楽しむ児童の増加
- ・体育的行事への意欲的な取り組み
- ・他を思いやるやさしさや仲間と協力する心の涵養

【教職員】

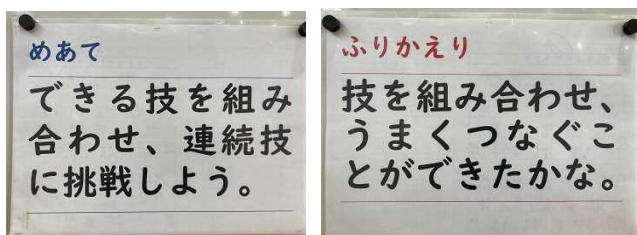
- ・体育学習への意識の向上
- ・体育専科教員との指導方法の共有による指導力の向上

◇ 一校一実践「5分間タイム」年間計画を職員室体育掲示板上に



○「5分間タイム」で取り組む低・中・高学年の月ごとの内容(年間計画)を、職員室体育掲示板に明示するとともに、今年度実際に行った実践を昨年度の実践の上に貼り重ね、記録に残していく。

◇ 毎時間の「めあて」と「ふり返り」の提示



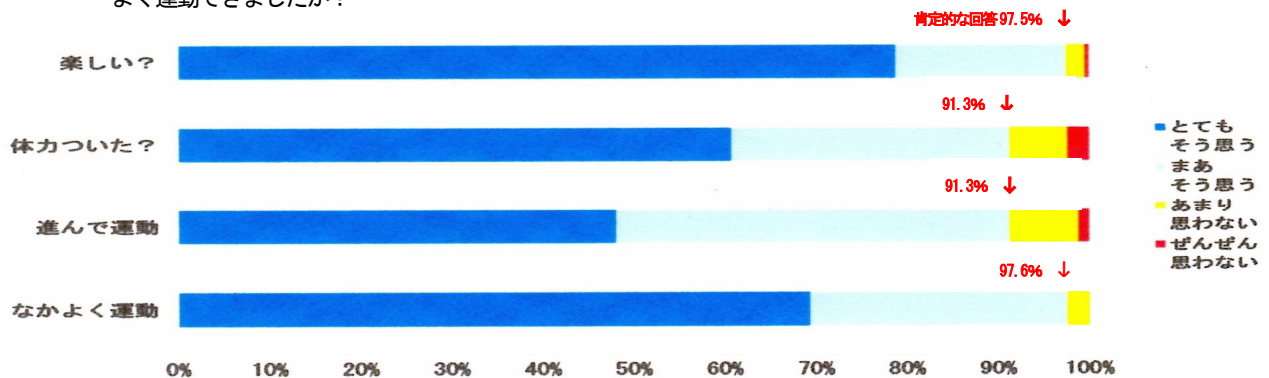
○毎時間、「めあて」「ふり返り」の提示は、A3用紙に両面印刷したものをカードケースにはさんで提示。
○児童全員に声をそろえて読ませて、確認。

◇ 各学期末 児童による授業評価アンケートの実施 …4校(計19学級)で実施:2学期末の結果

- Q1 体育の学習は楽しいですか?
- Q2 前よりも体力がついてきたと思いますか?
- Q3 めあてを達成するために、自分で考え、自分からすすんで運動に取り組めましたか?
- Q4 体育の学習でも、自分も友だちも大事にして、なかよく運動できましたか?

※Q2 体力がついてきた

→ 力が強くなった、疲れなくなった、足が速くなった、素早く動けるようになった、体がやわらかくなった、ボールをうまく使えるようになった… などなど



◇ 教具「バッティングティー」(ティーボール)の作成



○バッティングティーを購入すると、「バッティングティー用ゴム」の予備がもう一本ついていました。
○予備として、使わないでおいでるのはもったいないので、これを活用してもうひとつセット作成。

【作成手順】

- ①ベルコンのゴムを、元の教具(ホームベース)の大きさに合わせてカット。
- ②鉄パイプで足場を組む際に使う金具とボルトを購入し、ベルコンのゴムに固定。
- ③金具の径に合うアロンパイプを購入し、元の教具の長さに合わせてカット。
- ④バッティングティー用ゴムに、太めの輪ゴムを3本巻きつけ、アロンパイプの中に挿入。(輪ゴムがストッパーとなり上下の高さ調整が可能)
- ⑤アロンパイプを金具にさし、立てたら完成。

※わずかな代金でもうひとつセット増やすことができました。